



# 大阪市大自治会選挙

## 再建派大きく前進

去る五月九日から二十九日に行なわれた市大自治会中央執行委員選挙は、次の様な結果に終わった。

(選挙区)

①八木(主流派) 九二五票  
②今岡(再建派) 六九〇票  
③河村(再建派) 六七八票  
④佐賀(再建派) 六六八票  
⑤多賀(主流派) 六二二票  
⑥窪田(主流派) 六〇三票  
⑦天川(再建派) 六〇二票  
⑧山本(革新G) 五七〇票  
⑨原田(主流派) 五三七票  
⑩倉田(再建派) 五三一票

(法学部区)

田宮(主) 一七九票 当  
福田(再) 一七八票 次

(理工学部区)

白川(革) 一五四票 当  
坂口(民) 六九票 次

(家政学部区)

玄蕃(革) 二二九票 当  
沢田(主) 二〇二票 次

(医学部区)

池田(主) 一八〇票 当  
小池(革) 七〇票 次

(無所属)

山森(無所属) 一八七票 次  
松下(革) 一一一票 次

(注) 主流派は社会学同系、革新グループは平社会学同系、再建派は再建派系、選挙終了後、再建派は、戸梶(主) 八四票 次

### 解説

これまで二年間中執多数派を築いてきた社会学同系、革新グループと非民主的運管による再建派は、市大自治会の質的進歩と大阪府学連の強化、学生戦線統一を真に目指すに必要の部隊が自治会指導権を握るべきか、と選挙も、社会学同系が政権を維持するが、今回の市大自治会選挙の結果、中執の任務を

選挙がもつていた政治的意義はきわめて大きなものであった。

選挙の結果が示すように、主流派社会学同系へのゲモノが、経済学部区の一選差によって、ため今回の選挙がなっていた任務ははたされなかった。

それにもかかわらず、再建派が前年度中執二名から五名に前進したことは、今後、社会学同系の横暴を大きく規制し、市大自治会運動を前進させる可能性をきりひらくものである。

選挙は、再建、主流、革新、民青の四派乱立の形で開始されたが、再建派(社会学同)は、「選挙は、今年度、中執の任務を

## 全学投票で支持さる

### 大阪大学教養部活動方針・役員

五月二十一日大阪大学教養部前期学生大会が開かれ七百名近くの学生が参加し、名目定数にわずかに満たず、残念にも流会した。講堂の収容人員にも問題がある。

さて、五月十四、十五、十六日と自治委員会における集中討議を経て決定された執行委員会提案の前期活動方針の草案及び否決された全学連「主流派」の対案、平民学協の対案が再度大会の審議にかけられた。

大会ではほとんど相手にされなかったが、反自治会意識に乗った抽象的、一般的な執行部批判が例年通りかなり新入生に心情的にうけていたようであった。

しかし討議の中心が平和問題の核心に及び執行部より三被爆地のアピール①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳、㉑、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚、㉛、㉜、㉝、㉞、㉟、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、㊻、㊼、㊽、㊾、㊿、と、部分核停を正しく評

### 学大天王寺・池田選挙 共青の後退は明白

五月二十八日に行なわれた学大天王寺分校の常任自治会選挙は、自治委員選挙の延長の討論の末、二六対一六対一で旧執行部派が従来通り、常任委員に選出された。前号で報道した如く、後退した旧執行部が不正選挙を行なわれた数クラスで選挙をやり直してまき返し、現在池田分校では、食堂

### 岡山大学支部結成さる

四月二十一日岡山大学で岡山大学支部の結成総会が行なわれ、同支部の結成が決定された。支部は、社会学同系、民青、革新、民青の四派乱立の形で開始されたが、再建派(社会学同)は、「選挙は、今年度、中執の任務を

### 自治会選挙に前進

四月二十一日岡山大学で岡山大学支部の結成総会が行なわれ、同支部の結成が決定された。支部は、社会学同系、民青、革新、民青の四派乱立の形で開始されたが、再建派(社会学同)は、「選挙は、今年度、中執の任務を

### 現執行部提案承認さる

大阪大学各学部 工学部は学生大会成功

大阪大学各学部 工学部は学生大会成功

### 再び原水禁運動に 対する我々の態度

五月二十一日、三響力の強い全国支持委員会が調報告をすることになり、先づ「政変化云々」と「原水禁運動は反体制運動に堕した」という内容が含まれている。我々はこの様な現時点における日本原水協と原水禁運動に対する誤った評価と見解、そのもとたは運動の政変系列化を断固排除し、協会の断固排除を努力する。従って、我々の方針については留保しつつも、大会には参加し、最少限二つの大会がお互いに中傷をやめ、お互いを独自活動として認めるよう要求するつもりである。

### 日本原水協に 対する態度

先に述べたように、日本原水協は積極的に各地の第二原水協を支持する態度を見せるようになり、三被爆地連絡協議会に対しては、依然として「あらゆる国の問題と、部分核停を踏み絵にする分裂組織」ということを明らかにしている。

### 成功させよう 広崎島長大会を

以前我々は、三被爆地連絡協議会が独自に基調報告を作成するものと確認していたが、冒頭にも明らかにしたように、総評社会党の影

悪質な防衛にもかわらず出されたため、それに対する学生の大反響、生協問題、自衛隊員の大学入学問題、工学部自治会は強化されていくことが、民青統一派の大会においては、総括、

### 再び原水禁運動に 対する我々の態度

五月二十一日、三響力の強い全国支持委員会が調報告をすることになり、先づ「政変化云々」と「原水禁運動は反体制運動に堕した」という内容が含まれている。我々はこの様な現時点における日本原水協と原水禁運動に対する誤った評価と見解、そのもとたは運動の政変系列化を断固排除し、協会の断固排除を努力する。従って、我々の方針については留保しつつも、大会には参加し、最少限二つの大会がお互いに中傷をやめ、お互いを独自活動として認めるよう要求するつもりである。

### 日本原水協に 対する態度

先に述べたように、日本原水協は積極的に各地の第二原水協を支持する態度を見せるようになり、三被爆地連絡協議会に対しては、依然として「あらゆる国の問題と、部分核停を踏み絵にする分裂組織」ということを明らかにしている。

### 成功させよう 広崎島長大会を

以前我々は、三被爆地連絡協議会が独自に基調報告を作成するものと確認していたが、冒頭にも明らかにしたように、総評社会党の影

### 再び原水禁運動に 対する我々の態度

五月二十一日、三響力の強い全国支持委員会が調報告をすることになり、先づ「政変化云々」と「原水禁運動は反体制運動に堕した」という内容が含まれている。我々はこの様な現時点における日本原水協と原水禁運動に対する誤った評価と見解、そのもとたは運動の政変系列化を断固排除し、協会の断固排除を努力する。従って、我々の方針については留保しつつも、大会には参加し、最少限二つの大会がお互いに中傷をやめ、お互いを独自活動として認めるよう要求するつもりである。